

進捗状況の概要

平成 27 年度の進捗状況は下記の通り。

(A) Web シラバス・システム内に「学修成果評価システム (LOAS)」を構築 (前期末)

●各授業科目の「学修成果」別到達度 (成績) を集計・可視化し、授業内容・方法の改善、個別学生の学習指導・支援の改善、カリキュラム編成の改善等を推進するための基礎データを取得するインフラが整った。

(B) Web シラバス・システムにカリキュラム・マップ自動作成機能を追加 (12 月)

●科目群別・学科別のカリキュラム編成がディプロマ・ポリシーに沿ったものであるか否かを、各科目の学修成果別配点を集計して、数量的・明示的にチェックすることが可能となった。

(C) 教職員の協働支援システムであるグループウェア・システムを構築 (9 月)

●各種データ・情報等の共有により教職員間の連携が容易となり、「学修成果」の向上とそのため教育改善に向けての教職協働を円滑に推進できる体制が整った。

(D) 「卒業生アンケート」・「就職先アンケート」を実施 (11 月)

●各学科が設定している「学修成果」、ひいてはディプロマ・ポリシーの妥当性・適切性・社会的通用性、ならびに本学の教育成果に関する第三者評価を得ることにより、PDCA の実質化を促進する第一歩が踏み出した。

(E) Web シラバス・システム内に構築した、「授業アンケート」(前・後期末)・「新入生アンケート」(4 月)・「学修行動・生活調査」(1 年生は 9 月、2 年生は 4 月と卒業前)を実施

●Web シラバス・システムで各種「学生アンケート」を行えるようになったことから、より詳細なデータの収集が可能となった。また自動集計機能により、集計の効率化と共に多様な分析が可能となり、授業内容・方法の改善、個別学生の学習指導・支援の改善、カリキュラム編成の改善等のための基礎データを容易に取得できるようになった。

(F) 第 2 回 (9 月)・第 3 回 (3 月) 第三者委員会 (「富山短期大学 外部評価委員会」) を開催

●ステークホルダーによる第三者評価・要望・提言を得ることにより、アンケート質問項目の修正等各種システムの改善・修正に加えて、教学マネジメント全般の改善に反映させることができるようになった。

(G) FD/SD 研修会を計 5 回開催

●各種データ・情報等の共有、授業改善事例等の共有により、改善・改革へのベクトル合わせが可能となり、改善・改革の効率化・促進を図れるようになった。

(H) IR を推進するための統計解析ソフトの導入 (3 月)

●統計解析ソフト (IBM SPSS) を導入し、平成 27 年度に実施した各種「学生アンケート」結果の分析・IR を進めるインフラが整った。